

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	017 防災設備整備等関連事業					
予算科目	01-090102-12 地域防災推進に要する経費				担当部課	市長公室危機管理課
市長公約	67	70			係名	危機管理係
戦略プラン	II-3	1	1	災害に対する安定した備蓄の推進	新規・継続	継続
	II-3	1	2	公共施設の機能維持の推進	事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	一部委託
個別計画	地域防災計画、危機管理指針、地区防災計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	災害対策基本法				SDGs	13気候変動に具体的な対策を
						16平和と公正をすべての人に

事業の概要

対象	市民
目的	災害時に迅速な情報伝達や地域の防災活動に寄与するとともに、被災した市民等に救援物資及び生活物資等を供給する。
概要 (取組内容)	防災関連設備（防災行政無線、災害・防災メールの情報伝達手段や災害用井戸等）の整備及び維持管理を行う。 交通手段の断絶や流通機構の停止等により、物資供給に大きな支障が生じるおそれがあるため、災害発生から3日間程度の物資確保を行う。 指定避難所（公共施設）の看板の整備及び非常用発電機の配備を行う。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	168,690	111,365	231,949	142,678	142,678	
	決算額	(千円)	144,725	85,696	214,490	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	104,725	33,496	72,390	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	40,000	52,200	142,100	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	13,723	13,789	14,603	14,598	14,598	
	内訳	正職員従事割合	(人)	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
		正職員時間外勤務	(時間)	50.00	50.00	402.00	400.00	400.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	広報紙、出前講座、ホームページ、SNS、動画配信、ハザードマップでの情報発信
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	デジタル型防災行政無線の設置割合 (%)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	80.0	90.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績	80.0	90.0	100.0	100.0	0.0	0.0
指標の概要	土砂災害警戒区域、浸水想定区域、急傾斜地等の災害リスクが高いエリアへの計画に対しての防災行政無線設置割合（H29年度土砂災害・浸水想定区域の拡大に伴い、目標値修正）						

2	指標名	備蓄品確保状況 (%)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
	指標の概要	(II-3-①市の備蓄の推進や公共施設の機能維持) 備蓄品(水・食料)の確保率 ※20,000人分(3食/人×3日分)を100とした場合の充足率					
3	指標名	指定避難所(公共施設)の非常用電源の確保状況 (%)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績	77.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
	指標の概要	(II-3-①市の備蓄の推進や公共施設の機能維持) カセットガス式非常用発電機の備蓄数を指定避難所(公共施設)数で除した値					
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	指定避難所について、J I S規格に準拠したデザインの看板を整備した(74箇所)。また、令和5年度に指定緊急避難場所の更新等を行うために必要な予算措置を行った。	
成果	研究学園小中学校、香取台小学校に災害用井戸及び施設の非常用発電機を整備した。学校法人角川ドワンゴ学園S高等学校(旧 筑波西中学校)に既設災害用井戸を使用するための非常用発電機を整備した。食料や飲料水の備蓄について、引き続き2万人の3食3日分程度の備蓄を維持した。	
課題	業務	災害時のトイレ対策として携帯用トイレを備蓄しているが、災害時の状況によっては不足が見込まれるため、備蓄数を増やす必要がある。
	組織、予算等	携帯トイレの備蓄数を増やすため、計画的に予算を確保する必要がある。
改善目標	携帯トイレの備蓄数を見直すと同時に、災害時に市の備蓄だけで対応することは現実的ではないため、個人での備蓄の必要性について啓発する。また、市が災害用井戸を整備する際、トイレの洗浄水にも利用できるようにする。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続	
理由	-	

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	019 自主防災組織・地域防災活動支援事業					
予算科目	01-090102-12 地域防災推進に要する経費			担当部課	市長公室危機管理課	
市長公約				係名	危機管理係	
戦略プラン	Ⅱ-3	2	2	つくば市自主防災活動支援補助金の交付	新規・継続	継続
	Ⅱ-3	2	1	防災に対する意識の啓発	事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	補助金（間接）
個別計画	地域防災計画、危機管理指針、地区防災計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	災害対策基本法				SDGs	13気候変動に具体的な対策を
						16平和と公正をすべての人に

事業の概要

対象	市民
目的	大規模災害の発生に備え、共助の観点から自主防災組織の結成や活動支援を行い防災活動の強化を図る。
概要 (取組内容)	組織発足の際の支援や資機材購入の一部補助等を行う。 災害への備え（備蓄や家具の転倒防止、災害情報の収集など）の重要性について防災イベント等により啓発する。 出前講座、学校での啓発活動、地域等からの相談内容に応じた研修等を行う。

コストの推移

項目		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円) 2,310	2,897	2,928	2,928	2,928	
	決算額	(千円) 2,121	2,411	957	0	0	
	内訳	一般財源	(千円) 2,121	2,411	957	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円) 0	0	0	0	0
		その他	(千円) 0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円) 6,923	6,956	7,302	7,299	7,299	
	内訳	正職員従事割合	(人) 1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間) 50.00	50.00	201.00	200.00	200.00
		会計年度任用職員有無	(-) 有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	全区長への通知、出前講座
企画・立案、計画	防災会議
実行	
評価、検証	

指標の推移

指標名	自主防災組織のカバー率 (%)					成果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1 目標値	63.0	63.0	63.0	63.0	63.0	63.0
実績	65.0	67.3	70.9	73.2	0.0	0.0
指標の概要	(Ⅱ-3-②)自宅の安全・備蓄対策や地域での支えあいの推進) 自主防災組織を有する行政区の世帯数をつくば市全体の世帯数で除した値					

2	指標名	出前講座回数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
	実績	28.0	5.0	15.0	29.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	防災に関する動画を作成の行うほか、広報紙やホームページ等を利用し災害への備えの啓発を行った。また、新型コロナウイルス感染症の対策を行い防災イベントを実施し日頃の防災対策の必要性を周知した。
成果	自主防災組織活動育成事業補助金を5団体に交付（運営支援等補助金1団体、資機材等補助金4団体（資機材2団体、土のう2団体）。商業施設において防災イベント等を2回実施（防災イベント1回、パネル展示1回）。シェイクアウト訓練を1回実施（令和4年9月）（149団体 42,345名参加）。出前講座を29回実施（オンライン開催を含む。）。
課題	業務 防災士の活動が地域に根差した活動につながるような支援を行う必要がある。 スマートフォンで防災の情報を取得しにくい人の対策を検討する必要がある。
	組織、予算等 特になし
改善目標	防災士の活動を支援するための防災士フォーラムの実施、スマートフォンの操作等が苦手な人向けへのセミナーの実施を調整する。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	021 地域防災計画事業					
予算科目	01-090102-12 地域防災推進に要する経費			担当部課	市長公室危機管理課	
市長公約				係名	危機管理係	
戦略プラン	II-3	2	3	地区防災計画策定の推進	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（義務）
					事業体制	職員のみ
個別計画	地域防災計画、危機管理指針、地区防災計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	災害対策基本法				SDGs	13気候変動に具体的な対策を
						16平和と公正をすべての人に

事業の概要

対象	市民
目的	平常時から、迅速かつ円滑な災害体制を確立させる。
概要 (取組内容)	国・県の「防災基本計画」及び「地域防災計画」の改定や通達、ガイドラインを受け、地域防災計画の見直し等を行う。 東日本大震災、竜巻災害の経験等を反映させ、つくば市の防災体制を強化する。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	771	9,430	80	80	80	
	決算額	(千円)	0	9,020	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	9,020	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	6,923	6,956	7,302	7,299	7,299	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	50.00	50.00	201.00	200.00	200.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	ワークショップへの参加、訓練の参加
企画・立案、計画	地区防災計画の立案
実行	地区防災計画の策定
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	2 地区（上田中地区、下田中地区）において地区防災計画策定のためのワークショップを実施し、地区防災計画の策定を支援した。	
成果	納税課、資産税課、市民税課、社会福祉課と共同で、被災者生活再建システム運用のための訓練を実施した。 茨城県と連携して、災害時外国人支援研修を実施した。	
課題	業務	災害時における安否確認や避難行動の支援等において地域の助け合いが大切なため、地区防災計画が未策定の洪水浸水想定区域内の地区で、策定の支援を推進する必要がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標	地区防災計画について、地域と調整を図りワークショップ等を実施し、計画策定の支援を行う。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続	
理由	-	